

各地区WS意見一覧

地区	班	自助	共助	情報収集	避難	その他
山根	1	<ul style="list-style-type: none"> 携帯用ラジオを準備する 危険なところを知っておく 停電時に備え、ローソクなどを準備する 食料の準備 非常持ち出し品・薬の準備 		<ul style="list-style-type: none"> 天気予報などで情報を収集する 	<ul style="list-style-type: none"> 早めに避難する 	<ul style="list-style-type: none"> 全避難所に発電機が必要
	2		<ul style="list-style-type: none"> 近所の人と避難場所を決めておき、声を掛け合う 連絡体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 避難した場所で情報を得るようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 家の中の安全なところに避難する 	<ul style="list-style-type: none"> 発電機があるところを確認する。現在は消防の屯所。 深田公民館は避難場所になっているが、地滑り地帯のため使えない 消防自動車を活用できるようにすればよい 昨年の台風以降、河川がそのままなので、次の大雨が不安だ 黒電話を持っている家を知っておく 停電になると電話も使えなくて困った 携帯電話も通じないので連絡ができない
	3	<ul style="list-style-type: none"> 家族の安全確認 身を守る行動を家族で確認し、決めておく 災害が起きた時に行わなければならないことを家族で確認し合う 必要なものを準備しておく 非常時の食料、水(飲料水を含む)の確保 避難時の防災用品の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 避難はご近所みんなでする 近所での見守りと助け合い 	<ul style="list-style-type: none"> 災害情報の収集に努める 情報の収集手段を確認する 停電時の情報収集をどうするか決めておく 雨量計のデータを把握しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所、避難経路の確認 災害の種類ごとに避難場所を決めておく 	<ul style="list-style-type: none"> 台風10号の時は避難前にご飯を炊いて持って行った 孤立していないか、被害の状況を確認した 本当に安全な場所を決めておく
長内	1	<ul style="list-style-type: none"> 災害についての知識をもっと身につける 玄関や屋外の電灯を灯して屋外に存在を知らしめる 避難場所を確認しておく 非常時の防災用品をすぐ出せるようにする 持ち出し用の電灯・ラジオ等を確認する 動かせる家具等を上の階に上げる 	<ul style="list-style-type: none"> お隣さんと声を掛け合う 町内会の各班ごとにまとまる 年寄りを念頭に避難を呼びかける 		<ul style="list-style-type: none"> 避難指示の意味が分からなかった 公民館を開放する 避難道路が分からず、どっちに逃げればよいかわからなかった 三陸鉄道の線路に登る 	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線の戸別受信機を配布する 山形町の情報をもっと流してほしい ミニFMでリアルタイムな放送をしてほしい 災害記録集を作成する 水害時に早めにバリケードを設置する 公民館のそばを川が流れており怖い 床上浸水しそうなとき、自動車が走ってきて家に水が入った 近くの公民館に避難したが帰宅させられた
	2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家の周りの危険箇所を点検する 家族間で事前に連絡手段を相談しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 近所に住んでいる高齢者の確認・把握を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線やテレビで情報を集める 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の安全な場所をみんなで確認しておく 津波、洪水、山津波など何が危険かを知っておく 携帯ラジオを常に持ち歩く 	<ul style="list-style-type: none"> 助っ人は道具を持って駆け付ける
	3	<ul style="list-style-type: none"> 避難袋の準備 停電時に備え、ろうそくや懐中電灯を用意する 	<ul style="list-style-type: none"> 近所の高齢者への声掛け 地域ごとに災害時の対応を検討しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報を把握する 隣近所の住民の行動、道路・川の水位等を見て行動する 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーが声を出す 一人で行動しない 自動車避難時の渋滞を考慮し、林道の整備、活用を考える 避難場所や避難道の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 河川の管理(立木の伐採、土砂の撤去) 避難準備情報でサンスポーツランドへの避難指示があり疑問を持った 災害時、町内会で管理している公民館の施錠
大川目	1	<ul style="list-style-type: none"> 家族と連絡をとれるよう、日頃から連絡を心がける 情報を早く取れるように、関係機関の連絡先の把握を常に努めている 食事に困らないよう、常に何か備えておくようにしている 自分の身を守る 	<ul style="list-style-type: none"> 共助が可能な場合、どこまで、何をに行いに出かけるかを決めておく 地域の高齢者の安否確認をする 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集する 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集をした後、避難する 近所に避難の際声掛けをする 避難場所を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄品を定期的に確認しておく 電源確保のため発電機を購入している 反射ストローを準備している 高台移動に備え、車を1台低度確保しておく 水害に備え、車を高台に移動する リスクの想定と家族の安否確認の方法、どの段階でどのような行動をとるか決めておく
	2	<ul style="list-style-type: none"> 非常持ち出し品の準備 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の地区の一人暮らしや体が不自由な人をまず助ける 老人世帯の確認・誘導 自主防災会の協力 		<ul style="list-style-type: none"> 各自、避難経路を確認しておく とにかく逃げる 避難をためらわず、率先者となる 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から自宅の周辺を確認しておく 薬、食事、水、下着を準備しておく 非常食、飲料水の確保、電灯、雨合羽、電灯・ろうそくの準備 避難袋を準備する 水害に備え大事な物を高いところへ移動する 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の声かけ 一人暮らしの人、老人への声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を収集する 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話を持っていく 避難路・避難場所を確認しておく 	

各地区WS意見一覧

地区	班	自助	共助	情報収集	避難	その他
山形	1	<ul style="list-style-type: none"> 非常持ち出し品を準備しておく 普段から危ない場所を確認しておく 非常災害時に家から避難場所までの経路を話し合っておく 	<ul style="list-style-type: none"> 避難するときに周りに声をかける 	<ul style="list-style-type: none"> 予報を知る 川の様子をこまめに観察する 	<ul style="list-style-type: none"> 位牌を持って避難する 特に大事なものを持って避難する 情報に注意し、危なくなったらすぐに避難する 災害時はとにかく逃げる 避難場所といわず、安全なところに逃げる 	<ul style="list-style-type: none"> 川を見に行かない
	2	<ul style="list-style-type: none"> 電灯やローソクを備えておく 食べ物や飲み物を準備する 	<ul style="list-style-type: none"> 近所の人の様子を見る 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集を行う 河川の水位を確認する 消防団からの情報に注意する 	<ul style="list-style-type: none"> 普段使っている薬を持って避難する 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 非常備品を準備する 家族内の避難場所、部落内の避難場所を見ておく 持ち出し用の水、食料の準備 各戸で避難袋を備え、常に防災意識を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の一人暮らしを把握する 		<ul style="list-style-type: none"> 避難場所を事前に確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 日野沢地区の指定避難場所は危険な場所である 災害で避難する場所がない 川井地区は土砂流出危険地域が多く、自然ダムの崩壊の際の避難場所に問題がある 山形町は源流に近い山里なので、土石流が怖い 停電、道路不通、孤立地区が多く出ることが考えられるので、生活物資の確保等が問題 自主防災組織を結成したが、伝達に行政防災無線を活用できないか。特に屋外の施設を個々に使用できないのか
河南	1	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から必要なもの(薬、飲み物、お金など)を準備する 持病の薬を持って避難する 停電に備え、懐中電灯を準備しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 近所の高齢者や一人暮らしへの声掛け 近所の人の安否確認 隣りと連絡をとる 近所の人とのつながりを大切にする 	<ul style="list-style-type: none"> 上流の雨量情報を確認する 町内の川の水量を確認する 雨量予測を見る テレビによる川の水位情報を収集する テレビ・ラジオの情報を確認 	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所を確認する 避難場所の設備状況 増水時に道路が通れなくなるので避難場所へのルート変更を 	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線がはっきり聞こえない
	2	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを二階に上げる準備をしておく 持ち出し物品の準備 			<ul style="list-style-type: none"> ごみステーションに避難路を掲示する 	<ul style="list-style-type: none"> 久慈橋の近くの土砂を大至急撤去してほしい テレビのdボタンをPRする 連携が不足していた 台風10号の時は洪水の情報が不足していた 防災グッズを量販店で展示し、必要性を常に訴える
	3	<ul style="list-style-type: none"> 大事なものは一つにしておく 早めに避難する場所を決めておく 各自でどこに避難するか確認し、地域で把握しておく 普段からシミュレーションをしておく 缶詰、レトルト食品など保存食を準備しておく 薬等は袋に入れて上の方に下げておく 電灯、ラジオ、乾電池、ガスボンベを常に用意しておく 食料の備蓄(個人・地区) 	<ul style="list-style-type: none"> 気づいたことを近所の人達に話すことが大切 	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報に敏感になる dボタンを活用する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で避難訓練をする 避難路を確認しておく 地域で避難訓練をする 二階に上がる 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨・洪水の他、土砂崩れにもする
夏井	1	<ul style="list-style-type: none"> 家族内で安否確認方法を決める 飲食品の準備と確保 乾電池や懐中電灯を備える ガソリンや灯油、炭、まきなどの確保 非常時持ち出しリュックサックを中身を含め用意しておく 発電機を準備する 自然災害保険に加入する 	<ul style="list-style-type: none"> 体の不自由な人の確認 避難訓練をする 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオやテレビ等で情報を収集する 	<ul style="list-style-type: none"> 公的避難所から遠い地区の人は「マイ避難所」を決めておく 冠水した道路に車が出ない 災害ごとの避難場所を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 町内の危険箇所を確認する 災害想定箇所を認識しておく 大洪水に備え、小舟や大きなタイヤを備える ペットのえさの備蓄やしつけ 被害を受けても公的機関はあてにならない
	2	<ul style="list-style-type: none"> 缶詰など食料品のストック 電灯・ラジオを用意しておく 危険箇所を確認し、情報を共有しておく 			<ul style="list-style-type: none"> 気象庁や防災無線の情報で避難のタイミングを損なわない 避難場所を各戸が知っているかを確認する(避難場所を誤解している可能性もある) 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の開設の仕組みが分からない 避難所に行っても誰もいないから帰る 停電時、寝たきりの人などは医療器具が使えなくなるので発電機が必要 発電機などの設備の情報を地域でほしい
	3	<ul style="list-style-type: none"> 持病の薬の持ち出し 貴重品の持ち出し 小型ラジオや電灯など用意しておく 飲料水、食料を準備 安否確認の方法を家族で話し合っておく 避難ルートを家族で話し合っておく 避難方法、避難場所を常々家族と話し合っておく 			<ul style="list-style-type: none"> 避難場所を確認しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 河川には近づかない

各地区WS意見一覧

地区	班	自助	共助	情報収集	避難	その他
待浜	1	<ul style="list-style-type: none"> ・3か月に1度、非常用品の点検を行う ・常に非常用品を用意しておく ・食料、非常食、非常灯の確保 ・停電など生活に支障があることに事前対策を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や要介護者との連絡体制の確保を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集を常に行い、家族や地域で共有する ・気象や河川の水位などの情報収集を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館に避難できるよう、食料や暖房を準備しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における食料や燃料等の調整対策を全体で考えていける意識の醸成が必要
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・長靴、雨具を用意する ・防災用品の準備 ・ライト(懐中電灯)を見つけておく ・非常食の準備 ・必要な物品の準備 ・水害や山林火災、地震など万が一の状況を想定する ・災害に対する知識を日頃から学習する ・風呂に水をためておく 		<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所で共有する ・ラジオ、テレビで情報収集する 		
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・非常持出袋を準備する ・食料を3日分準備する ・懐中電灯や持出袋の置き場所を家族で決めておく ・市内に離れて暮らす家族との連絡方法を確認しておく ・家族との連絡方法を決めておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人に声がけをする ・平常時から避難訓練を行って行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道45号の除雪情報を市内外に発信してほしい ・国道45号の冠水情報が必要 ・JR八戸線の通勤通学時の情報を収集する ・公共交通機関の運行状況を確認する 		<ul style="list-style-type: none"> ・危険木の撤去が必要(大雨と風で倒木があり、家屋に穴が空いたことがある) ・大雪の除雪が大変 ・在住の外国人に日頃から情報を提供する
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備え、テレビ・ラジオの準備 ・日常使うものを準備しておく ・緊急時の連絡方法を話し合う ・災害に備え、避難場所の確認をしておく ・非常持ち出し品の準備 ・カセットコンロを準備する ・停電に備え、飲料水、食料、電灯、発電機などを備えておく ・自分だけでなく、親の薬の把握・確認をする ・トイレットペーパーなど紙類を備蓄する ・防災グッズが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の災害弱者を確認しておく ・高齢者などの一人世帯の安否確認、名簿、電話連絡網の準備 ・町内に自主防災連絡網を組織する 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビやスマートフォンでの災害情報の収集方法を勉強する 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所及び避難ルートを確認しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険個所の側溝整備を行う ・強風により倒木しそうな木を把握しておく ・危険個所を把握しておく
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・電灯を各部屋に置く ・電池を備蓄しておく ・薬を持つ ・レトルトなどの非常食を準備する ・3日分の食料や水を用意する ・スキムミルクを切らさない ・乾パン、缶詰、みそ、米を用意しておく ・卓上コンロと替えのガス、反射ストーブを用意しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から近所の人と交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオを準備し、情報を収集する 		<ul style="list-style-type: none"> ・井戸水のある家を確認しておく ・安全のためガスの元栓を開める
河北	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトやラジオ等の電池の確認 ・食品、衣類の確保 ・夜間に対応するための電灯の確保 ・保険証や薬手帳など健康を守るためのものを持ち出せるよう準備する ・水や食料などがどれくらいあるか確かめる ・大事なものをひとまとめにする ・非常食を用意しておく ・非常持ち出し用品の準備 ・暖房や調理用に電機以外の物を用意しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から近所コミュニケーションを取り合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ等の情報を事前に確認しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館のかぎを開け、避難住民の受け入れの準備をする ・近所の人にどこに行くか伝えてから避難する ・避難時にどこに避難するかを玄関にメモして避難する ・自宅からだけでなく、いつも出かける場所の避難場所を確認しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・風で飛ばないようにロープで縛る ・家の周りの水路を確認する(水量、水の流れ) ・自宅の周りの飛びやすいものを片付ける ・町内の道路で水があふれるところを確認しておく ・街路樹等、散歩の際に気を付けてみておく ・消防団と地域で水や食べ物、ローソクなどの確保について打ち合わせておく
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食料品を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織が必要 ・避難時に手助けが必要な人を把握する ・敬老会以外でも町内会の交流を図る 		<ul style="list-style-type: none"> ・早めに避難準備をする ・避難場所の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の行事で防災意識の向上を図る ・井戸を確保する ・安否確認用の連絡網を作成する
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の居場所を把握しておく ・事前に逃げる場所を決めておく ・食料品等の確認 ・水、食料を確保する ・最低限の持ち出し品を準備しておく ・携帯電話、メール以外の連絡手段を考えておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の一人暮らしの確認 ・出動した地区の見回りを行う(消防団員) ・支援者に災害を知らせる ・支援者の状況を確認する ・日頃から、近所にどのような人が住んでいるか知っておく ・知り合いと連絡を取り合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の手段を決めておく ・台風の時、地域の情報を確認する ・市や消防団などに今後の被災の推移について情報収集する ・家、職場のハザードマップを知る ・周辺の状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の場所を確認する ・一泊分くらいの食料を持参する ・災害に応じた避難ルートを考えておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者に情報を伝える

各地区WS意見一覧

地区	班	自助	共助	情報収集	避難	その他
小久慈	1	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係の置き場を決め、すぐに持ち出せるようにする 非常持出袋を用意し、備品を整える ヘルメット、飲料水を常備する 食べ物やラジオを備えておく ストーブや調理用のガスを確保しておく 大切なものは二階に置く 普段の生活で災害への備えができていないか確認しておく 家族等との連絡方法を共有しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を共有するグループを作る 町内会と状況共有をしておく 自主防災組織との連携を常に怠らない 大声で声をかけて元気が確認をする 一人暮らしや老人世帯を巡り、安全の確認をする 日頃から隣近所のサポートをよくしておきスムーズに声かけができるようにしておく 		<ul style="list-style-type: none"> 避難場所を確認しておく 避難経路の確保 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> 懐中電灯を用意する 			<ul style="list-style-type: none"> 離れて暮らす家族が危険な時、早めに実家に避難させる 	<ul style="list-style-type: none"> 昼と夜では増水の恐怖が異なる 農業用水路が家庭排水でつまり困るので、草刈で水路の流れを良くする 災害より火事が心配だ 防災マップでは、町内に危険なところがない 防災無線が開こえない 台風10号の水害時、消防団が何をしているかわからなかった→水門点検をしていた 30年くらい前には大沢田川が氾濫した えもん沢など町内で数カ所が崩れたことがある 石倉沢、櫛桁、えんのこ沢は地滑り地帯である 幸町から田高の住民は小久慈市民センターに避難したが、県道より山側の住民は市民センターの方が危ないと判断し避難していない
	3	<ul style="list-style-type: none"> 懐中電灯を用意しておく 停電時の対応(防寒、火、水、電源など)を考えておく 家族全員の連絡方法を決めておく 普段から非常食を準備しておく 必ず薬を持って避難する 緊急持ち出し品リストを作っておく 非常持出品の準備をしておく 飲料水は普段から多めに用意しておく 雨具や長靴などは人数分準備しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 避難時、隣近所に声かけをする 声かけをする人を決めておく 高齢者を優先的に避難誘導する 要援護者の対象マップを作成した 要介護者の在宅の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を早くキャッチする ラジオ、パソコンを準備しておく dボタンの使い方を全戸にPRする 	<ul style="list-style-type: none"> 早めに避難する 避難場所、避難ルートを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館は避難所としてよくない。長内中学校か恵水園がよい
宇部	1	<ul style="list-style-type: none"> 非常持出品の準備 避難場所の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者の把握 避難する人の情報を町内会で共有している 高齢者や一人暮らしの見守活動 津波時、消防団や民生委員と協力し、水や支援物資の配給を行う 		<ul style="list-style-type: none"> 停電になる前に避難する 	<ul style="list-style-type: none"> 避難できる体制を地域で作っていった方がよい こだま保育園前の市道が通れなくなることがある 下水道(排水溝)などの掃除 夜中にストロール 久喜の漁協の裏がくずれたことがある 宇部公民館のまわりが浸水して入れなくなる 大雨時に防災無線が開こえない 井戸のあるところを教え合った方がよい
	2	<ul style="list-style-type: none"> 薪ストーブの活用 普段から避難場所などを家族で話し合っておく ハザードマップを活用する 	<ul style="list-style-type: none"> 宇部町全体としての中心的な防災組織づくり 婦人会としての炊き出しなど協力体制整備と協力 避難所などでの食事の支度 声掛け 高齢者の避難と世話 近所の人にも声をかける 	<ul style="list-style-type: none"> 普段から気象情報をこまめにしておく 	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所の確認(場所や水が出るかなど) 避難経路を日頃から確認しておく 久喜地区はだんだん高くなっているので、津波の際は高いところに避難する 宇部川右岸側の住民は宇部中しか避難所がないので、避難しにくい 台風など大きな被害が起こる恐れがあるときは早めに避難する 空振りを恐れず、早めに避難する 	<ul style="list-style-type: none"> 宇部川に水位計を設置してほしい 毛布、食料、防災グッズ等の準備・備蓄 避難所の手伝い 井戸水の使用 大きな川はないので、崖崩れなどに注意する 災害が起きそうなきは、危険な場所や崩落度の高いところなどをバトロールし、前もって確認する 倒木が出るようなところは近所の集落に注意を促す